

## サマリー

### 中国の風力発電政策と風力発電市場の動向

戦略・産業ユニット 電力・ガス事業グループ 研究員 倪 春春

中国政府は、2007 年 9 月に発表した「再生可能エネルギー中長期発展計画」の中で、風力エネルギーの開発について、2010 年までに 500 万 kW、2020 年までに 3,000 万 kW の目標が掲げられているが、今年 3 月に発表された「再生可能エネルギー発展 11 次 5 ヶ年計画」の中では、風力発電の 2010 年の導入目標量が、「再生可能エネルギー中長期計画」よりも 500 万 kW 増の 1,000 万 kW に上方修正され、大きな注目点となった。

そこで、本論文では、「再生可能エネルギー発展 11 次 5 ヶ年計画」において、風力発電導入目標量の上方修正に至った中国風力発電市場の発展経緯とりわけ近年の風力開発に係わる政策諸要因を分析する上で、中国風力発電市場の課題および今後の動向を論じることとする。

分析の結果、以下の要因により中国の風力発電の導入現状を考えると 2010 年までには 1,000 万 kW あるいはそれ以上に達する可能性が非常に高いということから、「再生可能エネルギー発展 11 次 5 ヶ年計画」期において、風力発電の設備容量目標数値を上方修正したのである。

- 1) 2003 年以降の特許権風力発電プロジェクトの実施
- 2) 「再生可能エネルギー法」および関連細則の実施
- 3) 風力発電設備の国産化率の設定 (70%)
- 4) 風力発電設備の輸入関税の改定
- 5) クリーン開発メカニズムの活用

しかし、中国の風力発電市場は急速な伸びを示している一方、風力発電価格の合理化、大型発電所の拡大による系統の安全・安定運用の確保・維持、風況評価精度の向上や発電設備の検査・認証制度の構築などの諸課題を解決し、今後の風力発電市場の健全化を図っていく必要がある。

お問い合わせ:[report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)